

平成18年度 朝ごはん運動実績報告

基 本 方 針			1 ごはんを中心とした食生活の改善					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目			(1) ごはんを中心とした食生活の推進に関する事項					
ガ イ ド ラ イ ン	・朝食を欠食する児童生徒を、平成13年度の11.3%から0%を目指す ・幼児、児童、生徒の肥満児の割合を、平成15年度の16.7%から7%以下にすることを旨とする 目標 平成16年度 16.0% 実績 15.2% 平成17年度 15.0% 15.9% 平成18年度 13.4% 15.8% 平成19年度 11.8% 平成20年度 10.2% 平成21年度 8.6% 平成22年度 7.0% ・脂肪や油脂をとりすぎない食生活を目指す			実 績		評 価		
				朝ごはんを毎日食べるがH13年88.7%、H16年91.6%、H17年93.2%、H18年92.3%となり、前年より0.9ポイント減った。肥満状況についてはH13年16.2%、H14年16.7%、H15年16.7%、H16年15.2%、H17年15.9%、H18年15.8%となり、前年よりわずかながら減った。				
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当
	①	朝食欠食状況調査の実施	3歳から14歳までを対象	年1回実施 対象者1,756人	248	0	年1回実施 対象者1,723人	保健福祉課 教育委員会
	②	肥満状況調査の実施	3歳から14歳までを対象	年1回実施 対象者1,756人	0	0	年1回実施 対象者1,723人	保健福祉課 教育委員会
	③	朝ごはん標語の看板設置	新設、補修等	随時実施	240	75	つるのこ保育園 水元保育園 梅沢保育所 計3ヶ所	保健福祉課
	④	ごはんの大切さ啓蒙チラシ配布	毎戸配布	年2回実施	160	238	食生活状況調査 広報つるのこ9月号 いのちのまつりパンフレット 11月 バランスガイド 12月 食生活状況調査ダイジェスト版及び朝ごはん運動パンフレット印刷	保健福祉課
	⑤	簡単に作れるメニューの紹介と料理教室の実施	子ども及び保護者対象	年7回実施	50	139	計12回実施	保健福祉課
	⑥	朝ごはん運動の推進啓発活動	教養講座及び成人式などの開催時	年10回実施	72	61	12回実施（教養講座7教室・英会話教室前期・後期・知っておきたい英会話・成人式・実年式）	公民館
	⑦	朝ごはん運動推進大会	基調講演、事例発表など	6月18日開催	1,000	1,324	約1,700名参加 講演：「学力の新しいルール」陰山英男氏	総務課
計					1,770	1,837		

平成18年度 朝ごはん運動実績報告

基 本 方 針		1 ごはんを中心とした食生活の改善					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(2) 家庭での食に対する理解の促進に関する事項					
ガ イ ド ラ イ ン	・1日当たりの塩分摂取量を、平成15年度の13.2gから10.0g未満を目指す ・1日当たりの野菜摂取量を、平成14年度の217.3gから350.0g以上を目指す ・毎日1個のりんごを食べる			実 績		評 価	
				・「朝ごはんのすすめと食卓に増やそう野菜、減らそう塩分」運動は、乳児期から機会あるごとに実施。 ・1日当たりの塩分摂取量は、昨年12.4gから12.1gに0.3g減少した。			
実 施 計 画	事 務 事 業 名	事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	① 食卓に増やそう野菜減らそう塩分運動の推進	啓蒙活動	年25回実施	50	100	各健診やイベント開催時 年26回ミニ講話等を実施	保健福祉課
	② 野菜を使った料理教室の実施	各地区を対象に実施	年10回実施	50	64	各地区で15回実施	保健福祉課
	③ 離乳食教室の開催	4か月、10か月児の母親を対象に実施	各月1回実施	30	23	毎月各1回実施	保健福祉課
	④ 減塩教室（県立保健大学と共催）の開催	基本検診受診者で、尿中塩分13g以上の者を対象に実施	目標参加者数30人	0	0	参加者数32人	保健福祉課
	⑤ 塩分濃度調査の実施	一般町民を対象にみそ汁調査の実施	年1回実施 実施目標数800件	16	2	2月－705件実施 平均濃度0.89%	保健福祉課
	⑥ 尿中塩分検査の実施	健康診査受診者	年1回実施 対象者2,200人 目標 平均12.0g	462	452	実施者数2,151人 平均12.1g	保健福祉課
	計			608	641		

平成18年度 朝ごはん運動実績報告

基 本 方 針		1 ごはんを中心とした食生活の改善						
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(3) 安全な食品を選択するために必要な正しい知識の習得の支援に関する事項						
ガ イ ド ラ イ ン	・食生活と栄養に関する学習の場を増やす ・安全な食品に対する情報提供の場を増やす			実 績			評 価	
				・学習会は3回目を数え、本年は3月3日（土）に開催し、全町各方面から多数（323名）の出席があった。講師の話のほか、子どもの生活リズム調査結果の報告も行い、有意義な会となった。 ・地区伝達講習会は、食生活改善推進員の協力で当初の予定を超える回数を実施した。			○	
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	①	専門講師による学習会の実施	町民を対象に実施	年1回実施	160	170	3月3日開催 323名参加 講演：「心をつなぐおいしい給食」 講師：荒川区立ひぐらし小学校 次席栄養士 宮島則子氏	保健福祉課 教育委員会 産業観光課 総務課
	②	地区伝達講習会の実施	食生活改善推進員による安全な食品及び栄養に関する情報提供	年10回実施	50	64	各地区で15回実施（料理教室開催時）	保健福祉課
	計				210	234		

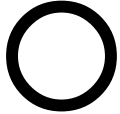
平成18年度 朝ごはん運動実績報告

基 本 方 針		2 早寝、早起き運動の推進																													
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(1)規則正しい生活習慣の促進に関する事項																													
ガ イ ド ラ イ ン	・酒は1日1合程度で週に2日の休肝日を目指す ・1日10,000歩のウォーキングを目指す (年齢や健康状態で歩数を個人で調整) ・喫煙者の減少を目指す ・1年に1回は健康診査の受診を目指す 2000実績 県下順位 2010目標 <table><tr><td>基本健康診査</td><td>50.5%</td><td>28</td><td>85%以上</td></tr><tr><td>胃がん検診</td><td>43.2%</td><td>17</td><td>65%以上</td></tr><tr><td>大腸がん検診</td><td>46.9%</td><td>14</td><td>90%以上</td></tr><tr><td>肺がん検診</td><td>85.7%</td><td>1</td><td>90%以上</td></tr><tr><td>子宮がん検診</td><td>45.7%</td><td>2</td><td>60%以上</td></tr><tr><td>乳がん検診</td><td>49.5%</td><td>3</td><td>85%以上</td></tr></table> ・十分な休養と睡眠を取りストレスの軽減を目指す			基本健康診査	50.5%	28	85%以上	胃がん検診	43.2%	17	65%以上	大腸がん検診	46.9%	14	90%以上	肺がん検診	85.7%	1	90%以上	子宮がん検診	45.7%	2	60%以上	乳がん検診	49.5%	3	85%以上	実 績		評 価	
				基本健康診査	50.5%	28	85%以上																								
胃がん検診	43.2%	17	65%以上																												
大腸がん検診	46.9%	14	90%以上																												
肺がん検診	85.7%	1	90%以上																												
子宮がん検診	45.7%	2	60%以上																												
乳がん検診	49.5%	3	85%以上																												
		・鶴田町健診率県No.1推進対策委員会の設置と各町内地区委員会の組織化 ・各町内会総会での健診受診のすすめと健診PRの実施																													
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額(千円)	決算額(千円)	進 捗 状 況 等	担 当 課																							
	①	町民ウォーキングの実施	津軽富士見湖一周 ほか	年3回実施 参加目標者数250人	50	0	5月、7月、9月に実施 参加者数276人	保健福祉課																							
	②	生活習慣病予防学習会の実施	各地区で随時実施	年25回実施	246	193	24回実施 参加者数2,561人	保健福祉課																							
	③	健康診査の実施	基本健康診査	目標受診数 2,190人(65.0%)	19,514	17,247	対象者数 3,251人 受診数2,000人(62.5%)	保健福祉課																							
			胃がん検診	目標受診数 1,836人(55.0%)	9,072	8,786	対象者数 3,222人 受診数1,689人(52.4%)																								
			大腸がん検診	目標受診数 2,203人(60.0%)	3,927	4,105	対象者数 3,538人 受診数2,050人(57.9%)																								
			肺がん検診	目標受診数 3,755人(88.0%)	3,940	3,286	対象者数 4,459人 受診数3,773人(84.6%)																								
			子宮がん検診	目標受診数 650人(45.0%)	3,711	2,988	対象者数 1,372人 受診数 563人(41.0%)																								
			乳がん検診	目標受診数 630人(54.0%)	3,360	2,087	対象者数 1,226人 受診数 590人(50.2%)																								
	④	地域体験活動事業	ジュニアリーダー研修会で体験学習	年1回実施 参加目標者数40人	260	170	8月2～3日・6日実施 参加者数 55人	公民館																							
			通学合宿で体験学習	年1回実施 参加目標者数25人	69	66	9月18～22日実施 参加者数 30人	公民館																							
	⑤	子どもの生活リズム向上のための調査研究	子どもの生活リズム向上推進委員会による調査研究	調査年1回実施 会議年6回開催	0	0	調査年1回実施 会議年6回開催	教育委員会																							
	⑥	朝の10分間読書	町内全小中高等学校で実施	毎日実施	3,180	3,180	毎日実施	教育委員会																							
	計					47,329	42,108																								

平成18年度 朝ごはん運動実績報告

基 本 方 針		2 早寝、早起き運動の推進						
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(2) 就寝及び起床の標準時間に関する事項						
ガ イ ド ラ イ ン	・ 幼児期 睡眠は、現状が9時間程度であるが、11時間以上を目指す 就寝は、午後8時までを目指す ・ 学童期低学年 起床は、学校が始まる2時間前を目指す 就寝は、午後9時までを目指す ・ 学童期高学年 起床は、学校が始まる2時間前を目指す 就寝は、午後10時までを目指す ・ 中学生、高校生 睡眠は、7時間以上を目指す 起床は、朝ごはんの時間を含めた余裕のある起床時間を目指す				実 績		評 価	
					食生活状況調査を実施し、起床時刻等を調査。 ●起床時刻 7時以降 13.2% (H13)→10.5% (H18) ●睡眠時間 7～9時間 88.9% (H13)→92.3% (H18)		○	
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	①	就寝、起床時間の調査の実施	全児童、生徒を対象	年1回実施	0	0	年1回実施 対象者 1,723人	教育委員会
	②	早寝、早起き運動の実施	チラシ等による啓発	年3回実施	0	0	各種会合等で随時実施	教育委員会
			各小中校の校長、養護教諭、学校職員による児童、生徒への周知	随時に実施	0	0	随時に実施	
	計					0	0	

平成18年度 朝ごはん運動実績報告

基 本 方 針		3 安全及び安心な農産物の供給					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(1) 農薬等の適正な使用及び管理の徹底に関する事項					
ガ イ ド ラ イ ン	・食用作物等への農薬使用について、農薬登録時に定められた基準である適用作物の単位当たり使用量の最高限度又は希釈倍数の最低限度、使用時期、使用総回数を順守し安全・安心な産地づくりを推進する				実 績		評 価
							食品衛生法の改正により、平成18年5月29日からポジティブリスト制度が導入された。そのため農薬使用講習会時において制度の周知と農薬飛散防止技術研修などを開催した。 
実 施 計 画	事 務 事 業 名	事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	① 農薬使用技術講習会開催	農事振興会及び防除組合等を対象に農薬使用技術講習会を開催し、農薬使用基準の遵守を図る	年1回開催	0	0	JA研修会 参加者延べ60人 5月9日 6月22日 7月12日 共防連幹部研修会 参加者80人 7月24日	産業観光課
	② ポジティブリスト制度の啓蒙活動	農薬使用基準等や飛散防止に係わる情報の提供	年1回配布	0	0	農家毎戸配布 4月4日 農業技術者協議会 7月25日	産業観光課
	計			0	0		

平成18年度 朝ごはん運動実績報告

基 本 方 針		3 安全及び安心な農産物の供給					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(2) 農産物の生産履歴の記帳に関する事項					
ガ イ ド ラ イ ン	・生産履歴の公開と流通情報も組み込んだトレーサビリティ（追跡可能）を図り、消費者の求める表示内容の正確性、信頼性に対応するため生産者は農産物の安全性をアピールし、付加価値を付ける				実 績		評 価
							○
実 施 計 画	事 務 事 業 名	事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	① トレーサビリティの強化	各関係機関との検討会及び情報交換会の開催	年2回開催	0	0	技術者協議会 5月19日 検討会 9月21日	産業観光課
	② 農産物等の生産履歴記帳の推進	研修会等の開催	年1回開催	0	0	産直友の会研修会 参加者 各80人 5月29日 7月25日	産業観光課
	計			0	0		

平成18年度 朝ごはん運動実績報告

基 本 方 針				3 安全及び安心な農産物の供給				
ガ イ ド ラ イ ン 項 目				(3) 食品表示の適正化の推進に関する事項				
ガ イ ド ラ イ ン	・農林物資の規格及び品質表示の適正化に関する法律（改正ＪＡＳ法）のもと有機農産物及び有機農産物加工食品のＪＡＳ規格について、生産方法及び表示を明確化することにより信頼性を確保し農産物等の価値を正当に評価される活動を展開する			実 績			評 価	
				消費者への信頼性確保のために、チラシ配布と併せて食品表示の講習会・あるじゃ産直の会で農産物表示の研修会を実施した。			○	
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	①	食品表示に関する講習会	各種食品表示に関する講習会開催の情報提供	随時	0	0	9月チラシＪＡ１回配布	産業観光課
	②	農産物生産に関する表示適正化	農協やあるじゃ等と連携を図りながら表示に関する指導活動	年２回実施	0	0	産直友の会研修会 参加者 各８０人 5月２９日 7月２５日	産業観光課
	計				0	0		

平成18年度 朝ごはん運動実績報告

基 本 方 針		3 安全及び安心な農産物の供給					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(4) 環境にやさしい安全及び安心な農産物の生産体制の強化に関する事項					
ガ イ ド ラ イ ン	・特別栽培農産物に対する消費者の信頼確保と生産者の生産意欲向上を図り環境にやさしい農業に取り組む産地を育成する ・土づくり、化学肥料、化学農薬の使用低減を行い持続性の高い農業生産方式の導入を推進する			実 績			評 価
				農産物認証制度の認定については前年より3戸増となった。 有機の里づくりにおいては2農業団体組織が環境にやさしい農業に取り組んだ。 しかしながらエコファーマー認定制度については、認定者は前年より14人増となったものの目標に達しなかった。			
実 施 計 画	事 務 事 業 名	事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	① 青森県特別栽培農産物認証制度の推進	県関係機関及び農協と連携を図りながら農産物認証制度への誘導	目標認証農家12戸	0	0	認証13戸 達成率 108.3%	産業観光課
	② エコファーマー認定制度の推進	県関係機関及び農協と連携を図りながら認定者を増やす	目標認定者150戸	0	0	認定者137人 達成率 91.3%	産業観光課
	③ 有機の里づくり推進事業	農業生産団体が土づくり等の環境保全農業活動を行なう	随時	1,761	1,761	おうとう栽培研究会及び認定農業者等協議会が事業実施	産業観光課
	計			1,761	1,761		

平成18年度 朝ごはん運動実績報告

基 本 方 針		3 安全及び安心な農産物の供給					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(5) 食品の安全及び安心に係る消費者への情報提供に関する事項					
ガ イ ド ラ イ ン	・農政改革大綱において消費者の視点を重視した食糧政策構築の観点から消費形態の多様化や味、鮮度、健康、安全性に対する事項について情報提供する				実 績		評 価
							○
実 施 計 画	事 務 事 業 名	事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	① 食品の安全及び安心に係る情報	地域住民へ町機関誌並びにチラシやパンフレットなど活用して農産物の安全・安心の理解を求める	随時	0	0	12月毎戸へ『食品の安全・安心』情報発信	産業観光課
	計			0	0		

平成18年度 朝ごはん運動実績報告

基 本 方 針				4 鶴田町において生産された農産物の当該地域内における消費（以下「地産地消」という。）の推進				
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(1) 地産地消の推進体制の整備に関する事項						
ガイドライン	・各種農業団体と連携し地場産品の生産振興及び消費拡大を図る ・地場産品等の生産振興及び加工品の開発を図る			実 績			評 価	
				消費拡大のために2つのマップを作成した。また、加工施設において新商品を数多く開発した。			○	
実施計画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	①	地場産品の生産振興の推進と消費拡大のための情報提供	地元消費を推進するための観光農園等のマップ作成	作成	0	0	6月「観光さくらんぼ園マップ」作成 3月「産直マップ」作成	産業観光課
	②	大豆・米加工施設の利用促進	利用状況等により新商品開発	随時	0	0	発芽玄米パン、テンペチョコ、フライデテンペ、みそ等	産業観光課
	計				0	0		

平成18年度 朝ごはん運動実績報告

基 本 方 針			4 鶴田町において生産された農産物の当該地域内における消費（以下「地産地消」という。）の推進					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目			(2)町民による鶴田町において生産された農産物（以下「地場産品」とい。）の積極的使用に関する事項					
ガイ ド ラ イ ン	・マーケティング・リサーチ活動を実施し、地場産品の把握及び販売の強化について方策を立てる			実 績			評 価	
				当町産の認証米「鶴の輝き」をはじめ、大豆加工品については店頭販売はもとより、学校給食等への利用など消費の拡大が図られた。 料理教室においては、開催回数は減ったが、新企画の「朝ごはんメニュー」は受講者に好評であった。				
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	①	青森県特別栽培農産物認証米「鶴の輝き」の生産及び消費拡大	当町産の認証米をＪＡ鶴翔・あるじゃの加工施設で商品化し消費拡大を図る	あるじゃ2,100kg・学校給食14,000kg・町内小売店他8,640kg	0	0	加工量24,740kg（玄米） 内訳 学校給食14,126kg（白米） 店頭2,757kg（玄米・白米）	産業観光課
	②	転作生産された大豆加工品の消費拡大	当町産の大豆をあるじゃ加工施設で商品化し消費拡大を図る	8,900kgをあるじゃ米大豆加工施設で豆腐、テンペ等に加工し販売する	0	0	加工量11,260kg 学校給食へ豆腐として2,342kg供給	産業観光課
	③	各料理教室の開催	町における料理教室	年１８回開催	225	165	１２回開催（新企画として「朝ごはんのメニュー」を取り入れた。開催回数は減ったが、内容は好評であった。）	公民館
				年１回開催	65	65	町民文化祭 米・りんご料理試食 １１月１７～１９日 いきいき調理実習 １２月１７日 かあさんのアイデア展牛乳・たまご料理実習 １月３０日	産業観光課
	計				290	230		

平成18年度 朝ごはん運動実績報告

基 本 方 針		4 鶴田町において生産された農産物の当該地域内における消費（以下「地産地消」という。）の推進					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(3) 地場産品を使用した学校給食の推進に関する事項					
ガイ ド ラ イ ン	・安全で安心な地場産品を使用した学校給食を提供するための生産・流通体制の整備を目指す				実 績		評 価
					平成16年度から始めた学校給食応援隊の納入実績は、16年度589kgであったが、17年度1,517kg、18年度2,169kgと順調に推移。10月からは米を「鶴の輝き」に変更。給食用のリンゴは、リンゴ一籠運動により266箱確保した。		○
実 施 計 画	事 務 事 業 名	事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	① 学校給食応援隊の活動推進	各農家から直接に地場産品を提供してもらう制度の確立	ジャガイモ、玉ねぎ等	0	0	58回実施 ほうれん草6kg、漬け物645kg、きゅうり64kg、じゃがいも311kg、玉ねぎ237kg、ピーマン6kg、長ネギ134kg、大根183kg、はくさい173kg、キャベツ59kg、味噌161kg、パプリカ22kg、北あかり38kg、小松菜16kg 合計2,169kg	給食センター
	② 学校給食に地場産品の活用	米・りんご等の使用	米を県特別栽培農産物認証米「鶴の輝き」に変更 10月～りんごを提供	200	179	リンゴの提供量 一般会計分 119箱 178,500円 リンゴ一籠運動 266箱	給食センター
	計			200	179		

平成18年度 朝ごはん運動実績報告

基 本 方 針			4 鶴田町において生産された農産物の当該地域内における消費（以下「地産地消」という。）の推進					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目			(4)町長、関係機関及び関係団体が行う事業における、地場産品の積極的使用に関する事項					
ガイ ド ラ イ ン	・鶴翔農業協同組合、あるじゃ、津軽ぶどう協会、各種農業団体等と連携し、地場産品の販路拡大を推進する			実 績			評 価	
				第 1 回津軽富士見湖桜まつりをはじめ、町内外の多くのイベントにおいて賞品及び特産品販売で消費され、地場産品の紹介になった。			○	
実 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	①	町内イベントでの地場産品の紹介	へら鮎釣り大会、つるたまつり、米消費拡大イベント「龍巻ずし」、農産物展、各種特産市等で紹介・販売	年 7 回開催	1,101	778	全国へら鮎釣り大会 5 月 4 日 開催北地方産直の日 (あるじゃ) 7 月 1 6 日 9 月 1 7 日 1 1 月 1 9 日 龍巻寿司（つるたまつり） 8 月 1 4 日 鶴田高校体育祭へカレーライス用米 4 0 kg提供 9 月 2 2 日 農産物展で地場産展示 1 1 月 1 7 ～ 1 9 日	産業観光課
			成人式・実年式・各大会などの記念品、賞品に活用	年 3 回開催	810	770	3 回開催 1 月（成人式・婦人会研修会）2 月（実年式）にて紹介した。また、実年式では、抽選会の賞品に鶴田産の米を提供した。	公民館
			フッドリバー市民と親しくする会、外国青年による津軽弁大会、新年を祝う会、鶴の里懇話会で紹介	年 4 回実施	730	687	フッドリバー市民と親しくする会総会 4 月 2 7 日 外国青年による津軽弁大会 6 月 2 4 日 新年を祝う会 1 月 5 日 鶴の里懇話会 1 月 2 2 日 2 月 2、6、8、1 3 日	企画課
	②	町外イベントでの地場産品の紹介	川崎自治会イベント、川崎市民まつりで紹介・販売	年 3 回参加	348	318	川崎自治会イベントへ出店（セゾール・サンスクエア） 8 月 2 6 日～ 2 7 日 1 2 月 9 日～ 1 0 日 川崎市民祭りへ出店参加 1 1 月 3 日～ 5 日	産業観光課
			ふるさと鶴田会、県庁鶴田会で紹介	年 2 回実施	580	491	ふるさと鶴田会 6 月 7 日、7 月 2 日 県庁鶴田会 5 月 3 0 日	企画課
	計				3,569	3,044		

平成18年度 朝ごはん運動実績報告

基 本 方 針		5 食育推進の強化						
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(1)食に関する様々な体験及び体感による学習の推進に関する事項						
ガ イ ド ラ イ ン	・ 保育所、幼稚園、学校で1年に1回は学習の実施を目指す			実 績			評 価	
				①「自分で作れる朝ごはん」に対し、子ども達は楽しみながら調理し、「家でも作りたい」「家族にも食べさせたい」という意見が多く聞かれた。 ②人形劇という形態で行うことにより、園児等に対する朝ごはん運動の良い動機付けになった。 ③小学校6校で、米、りんご、野菜づくりの農業体験学習を実施。 ④親子料理教室を各小学校で実施。 9月2日鶴田小学校、9月30日菖蒲川小学校、 10月7日梅沢小学校、10月14日胡桃館小学校、 10月21日富士見小学校、10月28日水元中央小学校			○	
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	①	ごはん作りの体験学習の実施	各学校対象	年1回実施	50	100	計12回実施	保健福祉課
	②	朝ごはん運動啓蒙人形劇等の実施	保育園児対象	各保育所等10施設で実施	50	35	5/13./20.6/3./24.7/1 保育所幼稚園等10ヵ所実施	保健福祉課
	③	朝ごはん運動推進体験学習の実施	各学校対象	年1回実施	140	140	各校年農作業等体験学習を実施	教育委員会
	④	地域子ども教室推進事業	各小学校を対象に親子料理教室「キッズインザキッチン」の実施	全小学校	0	0	各小学校で実施	給食センター
	計				240	275		

平成18年度 朝ごはん運動実績報告

基 本 方 針		5 食育推進の強化					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(2)教育関係者の食育学習の推進に関する事項					
ガ イ ド ラ イ ン	・ 1年に1回は学校保健会などが中心となり食育学習等の実施を目指す				実 績		評 価
					親子料理教室の際に食育学習を同時に実施。		○
実 施 計 画	事 務 事 業 名	事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	① 食と栄養に関する学習会の実施	各小学校の教育関係者を対象	年6回実施	0	0	各小学校で実施	給食センター
	計			0	0		

平成18年度 朝ごはん運動実績報告

基 本 方 針		5 食育推進の強化					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(3) 学校給食を通じた食育の推進に関する事項					
ガ イ ド ラ イ ン	・子どもの食に関する理解の促進と町の特色を生かした給食の提供を目指す				実 績		評 価
					毎月主な行事にかけて行事食を提供している。3月の受験時期に縁起を担いだカツナベは好評である。		○
実 施 計 画	事 務 事 業 名	事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	① 学校給食で郷土食、行事食メニューなどの実施	各小中学校を対象	年12回実施	0	0	年12回実施	給食センター
	計			0	0		

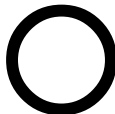
平成18年度 朝ごはん運動実績報告

基 本 方 針		5 食育推進の強化					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(4)国際交流による食育の推進に関する事項					
ガ イ ド ラ イ ン	・外国の食文化を体験及び学ぶことで、米食文化の再認識を目指す				実 績		評 価
					中学生大使のフッドリバー訪問時における外国食文化の体験及び事前のテーブルマナーにおいて、保護者同席参加による外国食文化の体験		○
実 施 計 画	事 務 事 業 名	事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	① 姉妹都市フッドリバー中学生親善訪問事業	外国の食生活を学ぶ	年1回実施 参加人員20人	2,084	1,966	年1回実施 参加人員26人	教育委員会
	計			2,084	1,966		

平成18年度 朝ごはん運動実績報告

基 本 方 針		6 米文化の継承					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(1) 米の生産者と消費者との交流の促進に関する事項					
ガ イ ド ラ イ ン	・生産者と消費者との情報交流の場の設定を目指す				実 績		評 価
					宮城・川崎方面のイベントに参加。また、あるじゃでの「北地方産直の日」を通して農産物等の販売で消費者との交流を深めた。		○
実 施 計 画	事 務 事 業 名	事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	① 町内外のイベントで地域産農産物等の紹介	各地で行われる特産品紹介イベント等に積極的参加	随時実施			ハイウェイコミュニケーションin東北2006 8月19、20日 川崎自治会イベント出店 8月26、27日 12月9、10日 川崎市民祭り出店参加 11月3、4、5日	産業観光課
	② 道の駅を中心とした情報交流の場の開催	農協及び農業団体が連携して消費者と交流	年1回開催	0	0	北地方産直の日 (あるじゃ) 7月16日 9月17日 11月19日	産業観光課
	計			0	0		

平成18年度 朝ごはん運動実績報告

基 本 方 針			6 米文化の継承				
ガ イ ド ラ イ ン 項 目			(2) 伝統的な米文化の継承の推進に関する事項				
ガ イ ド ラ イ ン	・ 伝統的な行事と結びついた米文化の知識や農具 ・ 器具等の伝承を目指す ・ 地域における伝統的な米食文化の継承を目指す			実 績			評 価
				川崎京町小での田植体験では、5 学年 1 0 0 人以上の参加による田植えと稲の育て方について学習をし、お米への関心を抱き好評であった。			
実 施 計 画	事 務 事 業 名	事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	① 米文化の伝承事業	米づくり体験、餅つき大会の実施	3 小学校 川崎京町小（学校田体験学習）	70	70	川崎京町小（田植体験） 6 月 6 日 5 学年 1 0 5 人参加 鶴田小三世代ふれあいまつり（餅つき大会） 9 月 3 0 日 胡桃館小くすみふれあいまつり（餅つき大会） 1 1 月 1 2 日 梅沢小防犯餅つき大会 1 1 月 2 2 日 菖蒲川小三世代交流餅つき大会 1 1 月 2 5 日 富士見小おにぎりを作ろう（体験教室） 1 月 6 日 菖蒲川小おにぎりを作ろう（体験教室） 2 月 2 4 日	教育委員会 産業観光課
	計			70	70		

合計	58,131	52,345
----	--------	--------